

地方独立行政法人 筑後市立病院 2025（第15事業年度）年度計画

【基本理念】

「生涯研修・生涯奉仕」

- 地域と連携を深め、中核病院としての機能充実をはかります。
- 生涯研修の精神で、常に自己研鑽に努め、高度な先進的・最適医療を実践します。
- 人格を尊重し、博愛と生涯奉仕の精神で信頼と安心が得られる医療を提供します。

【基本方針】

- 患者中心、患者第一を最優先に考えた医療を提供します。
- 地域医療のニーズを常にとらえ、変化に対応できる病院をめざします。
- 住民の健康管理に積極的に取り組み、地域連携を推進します。
- 人に尽くすことに誇りを持ち、互いに切磋琢磨しながらチームワークで医療に取り組みます。

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 良質な医療の提供

(1) 救急医療体制の維持

- 久留米大学教育関連施設協議会や八女筑後医師会第5部会等で、現状や課題を共有する。
- 筑後市消防本部と症例検討会を継続して実施する。
- 不応需となった事由について、引き続き各救急隊と情報共有を図る。
- 久留米大学医師派遣を堅持し、副院長をはじめとする幹部も宿日直に入り、救急体制維持に努める。

【関連指標（成果指標）】*1

指 標	参考値*2 (2023)	目標値*1 (2025)
救急応需率	89.4%	95.0%以上
筑後市消防本部の八女筑後医療圏内医療機関への搬送率	69.7%	68.0%以上

*1 第4期中期計画の関連指標及び目標値を設定

*2 2024（令和6）年度実績を基本とするが、数値が確定していないものは2023（令和5）年度実績を記載

(2) 患者と一体となったチーム医療の実践

- 最新の治療方針やガイドラインに即した説明を行い、それに伴い同意書や説明書を見直す。
- ACP（アドバンス・ケア・プランニング）*1に関する研修を行い、ACPを推進する。
- 当院で症例の多い疾患については新規パスを作成し、また既存パスについても、精度を高め適用拡大を図る。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値	目標値（2025）
医師との対話、病状・治療などに関する説明の満足度（入外計）*2	4.2点（2024）	4.0点以上
クリニカルパス適用率*3	48.7%（2023）	40.0%以上

*1 将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、患者を主体に、その家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、患者による意思決定を支援する取り組みのこと

*2 患者満足度調査（5段階評価）

*3 クリニカルパス適用患者数÷新規入院患者数×100

(3) 診療機能の整備

- 地域医療構想調整会議等、既存の会議体に積極的に参加し、議論を行う。
- 小児医療及び周産期医療については、当院で提供可能な医療を模索しつつ、現在行っている産後ケアや小児救急等診療を継続して行う。
- 変更した病床で効率的な稼働を行いながら、引き続き適正な病床数を検討する。
- 専門外来や地域のニーズの高い診療科の開設を検討する。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2023）	目標値（2025）
初診患者数	8,525人	9,500人以上
新規入院患者数	3,453人	4,000人以上
病床利用率（休床病床*1除く）	67.0%	74.0%以上

*1 福岡県から割り当てられた新型コロナウイルス感染症患者の確保病床

(4) 地域医療機関との連携

- 逆紹介の推進及び地域医療機関への当院の特徴の広報を積極的に行う。
- 医療機関や介護施設との連携を深め、重症度に応じた患者の転送先選択肢を広げる。
- 引き続き近隣の医療機関と連絡を密にし、在宅療養の対象となる患者の急変時には、入院受入れを行う。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2023）	目標値（2025）
紹介率	71.2%	50.0%以上
逆紹介率	90.7%	70.0%以上
地域医療機関サポート率*1	62.0%	60.0%以上

*1 全国自治体病院協会が行っている「医療の質の向上と質の情報の公表事業」で設定された臨床指標で、二次医療圏内の医療機関のうち、患者の紹介を受けた割合。二次医療圏内で紹介を受けた医科医療機関数÷二次医療圏内医科医療機関数×100で算出。

(5) 地域包括ケアシステムの推進

- 退院前後に必要なケアや生活支援の課題を整理し、介護・福祉施設を定期的に訪問する等、連携を強化する。

- 地域包括ケア病棟については、多職種が協働して早期の在宅復帰を支援する。
- より多くの患者の自宅へ訪問できるよう、スケジュールの整備や管理を行い、効率的に件数を増やす。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2023）	目標値（2025）
在宅復帰率（急性期病棟）	92.3%	80.0%以上
在宅復帰率（地域包括ケア病棟）	82.9%	70.0%以上
訪問看護及び訪問リハビリ合計数	2,926 件	2,000 件以上

(6) 災害時における医療協力

- 災害対策委員会で、各種マニュアルを現場視点の有用なものへ更新を行う。
- 訓練によって現場レベルまでの浸透を図るとともに、簡易トイレや飲料等の必要数を見直し、有事に備える。
- 災害時インフラの確保のため、継続して市等関係各所と調整を行う。
- 新興感染症発生時も円滑に患者受け入れができるように、関係機関との訓練を実施する。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2024）	目標値（2025）
DMA T保有数	1 チーム	1 チーム
感染管理認定看護師数	2 名	2 名

2 医療機能提供体制の整備

(1) 医療スタッフの確保

- 医師の確保にむけて、久留米大学医局との関係維持に努めるとともに、久留米大学以外からの医師招聘を検討する。
- ホームページ等の採用ページを充実させ、職場の雰囲気や福利厚生等の情報を発信する。
- 優秀なスタッフ確保のため、就職説明会や関係機関訪問を頻回に実施する。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値	目標値（2025）
医師の充足率*1	245.6%（2024）	100.0%以上
看護師の充足率*1	303.1%（2024）	100.0%以上
正規雇用看護職員の離職率*2	7.4%（2023）	10.0%以下

*1 医療法施行規則第19条第1項第1号及び同条第2項第2号による算出

*2 当該年度の総退職者数÷当該年度の平均職員数*3×100

*3 （年度初めの在籍職員数+年度末の在籍職員数）÷2

(2) 高度医療機器の計画的な更新・整備

- 医療機器選定委員会及び医療情報システム委員会で、仕様内容や金額の妥当性を精査する。
- 予算申請時の費用対効果分析を徹底し、必要最低限の導入に努める。
- 電子処方箋については、掲示や案内等で患者の理解を促進し、利用普及に努める。
- 電子カルテ共有システムについては、医療現場の業務効率化やコスト削減等を考慮し、導入を検討する。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値 (2023)	目標値 (2025)
器械備品減価償却率*1	82.0%	80.0%以下
減価償却費率（対医業収益）*2	8.3%	7.5%以下

*1 器械備品減価償却累計額 ÷ 償却資産のうち器械備品の帳簿原価 × 100

*2 減価償却費（医業費用） ÷ 医業収益 × 100

(3) 就労環境の整備

- 職員の負担軽減として、タスクシフト・タスクシェア、医療 DX 化に取り組む。
- 相談しやすい環境を整備、周知し、メンタルヘルスに関するフォローの選択肢を増やす。
- 職員満足度調査やストレスチェックの結果の分析を行い、就労環境改善を図る。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値	目標値 (2025)
勤務条件に関する満足度*1	3.7 点 (2024)	3.0 点以上
精神的な不安に関する満足度*1	2.8 点 (2024)	3.0 点以上
医師時間外労働時間数	月 31.3 時間 (2023)	月 80 時間以内

*1 職員満足度調査（5段階評価）

3 患者サービスの向上

(1) 患者満足度の向上

- さらなる満足度向上のため、個別の項目について分析を行い、マナー向上委員会で対策を図る。なお、待ち時間緩和のため、再診や問診の手法の見直し等に取り組む。
- 全職員の接遇が同じ水準で実践できるよう、研修を実施し、プライバシー保護や接遇向上に取り組む。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値 (2024)	目標値 (2025)
総合満足度（外来）*1	4.0 点	4.0 点以上
総合満足度（入院）*1	4.3 点	4.0 点以上

*1 職員満足度調査（5段階評価）

(2) 患者相談窓口の充実

- 満足度調査の分析や苦情相談の対応に加え、職員が患者の身になって得た気づきを改善に役立てる。
- 緊急性の高い苦情や相談は、迅速に医療安全管理室や倫理委員会と地域医療支援室が連携し、早期解決に努める。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値 (2024)	目標値 (2025)
相談対応に関する満足度*1	4.2 点	4.0 点以上

*1 職員満足度調査（5段階評価）

4 信頼性の確保

(1) 医療安全対策の徹底

- リスクカンファランスで、事例共有やインシデントの要因分析、再発防止策の検討を行う。
- インシデント報告の場で、マニュアル遵守度を確認し、再周知や教育を継続するとともに、適宜マニュアルを見直す。
- 院内ラウンドを実施し、直接指導や書面によるフィードバックを行い、院内感染制御を強化する。
- 手指衛生実施状況を把握し、手指衛生の遵守に向けた取り組みを実施する。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値 (2023)	目標値 (2025)
レベル4以上のアクシデント件数	0 件	0 件
MRSA感染率	2.3%	2.8%以下

(2) 法令・行動規範の遵守

- 業務プロセス改善の進捗状況を確認し、理事会へ報告する。
- 個人情報保護に関しては、規程等を整備するとともに、研修等の実施により、委託業者を含む職員に対して意識啓発を行う。
- サイバーインシデントに関する事業継続計画（BCP）を策定する。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値 (2024)	目標値 (2025)
個人情報保護研修参加率	100.0%	100.0%
コンプライアンス研修参加率	100.0%	100.0%

(3) 市民への情報提供

- 広報委員会で、広報誌の特集内容を協議し、保健医療や診療に関する情報等、読者の興味を引く誌面づくりを行う。
- 動画共有サービスやSNSを活用し、様々なターゲットに向けてライブ配信等タイムリーな情報発信を行う。

- 医療に関する専門知識を基に地域公開講座や健康出前講座を開催し、保健医療情報を提供することで、予防医療や健康意識を啓発する。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2024）	目標値（2025）
ウェブサイト・広報誌の認知度*1	2.5 点	3.0 点以上
ウェブサイト・広報誌の満足度*1	3.7 点	3.5 点以上

*1 職員満足度調査（5段階評価）

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 法人としての運営管理体制の確立

(1) 機動的・自律的な組織マネジメントの強化

- 病院の経営資源を効果的かつ効率的に活用するため、管理職のマネジメント力の向上に資する研修を実施する。
- 病院のKPI（重要業績評価指標）を用いた意思決定プロセスへの幹部及び管理職の参画を促進させる。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2024）	目標値（2025）
病院理念に沿った活動への満足度*1	3.4 点	4.0 点以上

*1 職員満足度調査（5段階評価）

(2) 継続的な業務改善の実施

- 外部・内部環境変化に対応するため、適切な組織機構を検討し、必要に応じた機動的な人員配置を行う。
- 職員の負担軽減につながる新技術を情報収集し、導入を検討する。なお、自動文字起こしツールなど速やかに導入可能なものは速やかに導入する。
- 非効率な作業の廃止や業務簡素化推進のため、各種規程や要綱等の見直しを行う。また、外来診療の最適化にも取り組む。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2023）	目標値（2025）
時間外労働時間数（正規職員）	月平均 7.6 時間/人	月平均 6.0 時間/人以下

(3) 人事制度の適切な運用

- 医療需要に則した迅速かつ合理的な職員採用及び人員配置を実施する。
- 現行の人事評価制度を維持し、組織全体の目標や部署目標、個人目標を連動させ、職員の達成感や納得感を高める。
- 評価者研修を継続して実施し、評価手法の統一や事例研究を行う。
- 持続可能な病院経営に向けた業績手当及び評価反映の具体策検討を行う。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2024）	目標値（2025）
仕事の成果や能力の適正な評価に関する満足度*1	3.0 点	3.5 点以上

*1 職員満足度調査（5段階評価）

(4) 計画的な研修体系の整備

- 研修委員会で、年間研修スケジュールを作成し、研修内容及び頻度を最適化する。
- 職員の認定看護師取得意欲を高めるため、引き続き支援体制の充実を図る。
- 院外学会及び研修への参加機会を確保し、学んだ知識やスキルを組織全体に還元させる。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2024）	目標値（2025）
学習や成長の機会に関する満足度*1	3.4 点	4.0 点以上

*1 職員満足度調査（5段階評価）

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 安定した経営基盤の構築

(1) 収益の確保と費用の節減

- 病床削減後の診療報酬算定が適切に処理されているかを検証するとともに、さらなる収益確保に向けて組織横断的に取り組む。
- 病棟間で毎日空床状況を共有し、病床の有効活用を図るとともに、DPC入院期間^{*}1を意識した在院日数の適正化に努める。
- 経費について、委託等の仕様見直しを行い、コスト削減に繋げる。
- 収支改善計画の進捗状況を確認、分析し、必要に応じ計画内容を見直す。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2023）	目標値（2025）
経常収支比率*2	91.6%	100.0%以上
修正医業収支比率*3	84.4%	95.0%以上

*1 全DPC（診断群分類）病院の平均在院日数

*2 $(\text{営業収益} + \text{営業外収益}) \div (\text{営業費用} + \text{営業外費用}) \times 100$

*3 $\text{医業収益} \div \text{営業費用} \times 100$

(2) 計画的な投資と財源確保

- 減価償却費及び返済金の平準化を図った投資を行う。
- 国や自治体の補助金等の情報収集や活用を積極的に行う。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2023）	目標値（2025）
自己資本比率*1	32.5%	33.0%以上

*1 $\text{純資産} \div (\text{負債} + \text{純資産}) \times 100$

第4 予算（人件費の見積もりを含む）、収支計画及び資金計画

1 予算（2025（令和7）年度）

（単位：千円）

区 分	金 額
収 入	
営業収益	4,507,630
医業収益	4,202,064
運営費負担金収益	196,737
その他の営業収益	108,829
営業外収益	72,210
運営費負担金収益	22,574
その他の営業外収益	49,636
資本的収入	514,791
運営費負担金	151,591
長期借入金	363,200
その他の資本的収入	0
その他の収入	0
計	5,094,631
支 出	
営業費用	4,386,220
医業費用	4,200,026
給与費	2,506,647
材料費	861,273
経費	815,745
研究研修費	16,361
一般管理費	186,194
営業外費用	66,483
資本的支出	802,165
建設改良費	363,221
償還金	438,944
その他の資本的支出	0
その他の支出	0
計	5,254,868

2 収支計画（2025（令和7）年度）

（単位：千円）

区 分	金 額
収益の部	4,771,620
営業収益	4,699,400
医業収益	4,197,949
運営費負担金収益	196,737
補助金等収益	154,429
寄附金収益	0
資産見返運営費負担金戻入	117,482
資産見返補助金等戻入	32,781
資産見返寄附金戻入	22
資産見返物品受贈額戻入	0
営業外収益	72,220
運営費負担金収益	22,574
その他の営業外収益	49,646
臨時利益	0
費用の部	4,771,620
営業費用	4,705,582
医業費用	4,524,115
給与費	2,467,644
材料費	782,976
経費	899,619
減価償却費	356,700
資産減耗費	2,000
研究研修費	15,176
一般管理費	181,467
営業外費用	65,938
臨時損失	100
純利益（又は純損失）	0
目的積立金取崩額	0
総利益（又は総損失）	0

3 資金計画（2025（令和7）年度）

（単位：千円）

区 分	金 額
資金収入	5,507,993
業務活動による収入	4,579,840
診療業務による収入	4,202,064
運営費負担金による収入	219,311
その他の業務活動による収入	158,465
投資活動による収入	151,591
運営費負担金による収入	151,591
その他の投資活動による収入	0
財務活動による収入	363,200
長期借入れによる収入	363,200
その他の財務活動による収入	0
前事業年度からの繰越金	413,362
資金支出	5,507,993
業務活動による支出	4,434,377
給与費支出	2,673,948
材料費支出	861,273
その他の業務活動による支出	899,156
投資活動による支出	363,221
有形固定資産の取得による支出	362,297
その他の投資活動による支出	924
財務活動による支出	457,270
長期借入金の返済による支出	159,911
移行前地方債償還債務の償還による支出	279,033
その他の財務活動による支出	18,326
翌事業年度への繰越金	253,125

第5 短期借入金の限度額

- 1 限度額 1,000 百万円とする。
- 2 想定される短期借入金の発生理由

予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応や賞与の支給等一時的な資金不足への対応を想定している。

第6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

なし

第7 剰余金の使途

決算において剰余を生じた場合は、病院施設・設備の整備・改修、医療機器等の購入、長期借入金の償還、人材確保事業及び人材育成事業の充実に充てる。

第8 地方独立行政法人筑後市立病院の業務運営等に関する規則（平成22年筑後市規則第45号）第6条に定める事項

1 施設及び設備に関する計画（2025（令和7）年度）

施設及び設備の内容	予定額（税抜）	財源
病院施設・設備の整備	総額 228 百万円	筑後市からの借入金及び自己資金
医療機器の整備・更新	総額 136 百万円	筑後市からの借入金及び自己資金

（注）金額については見込みである。

第9 その他業務運営に関する重要事項

1 今後の検討課題

(1) 保健機関との連携

- 市の健康診査検討委員会及び健康なまちづくり推進協議会に委員として参画する。
- ホームページ等で生活習慣病や特定健診の受診方法についての情報を発信し、健康出前講座を継続して実施する。
- 当院で特定健診を受けた患者に、特定健診の案内を送り、受診を促進する。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2023）	目標値（2025）
特定健診の前年度未受診者の受診率 ^{*1}	13.8%	25.0%以上

*1 前年度に特定健診を受診しなかった筑後市民のうち当年度に特定健診を受診した者の割合

(2) 今後の検討課題

- 市長と理事長との意見交換を行う。
- 市が設置する病院運営調整委員会に参画し、病院経営等に関する情報交換等を行う。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2023）	目標値（2025）
市との定例協議	2回	2回以上